

セキュアなEメールゲートウェイのためのDKIM Large Key Verificationの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[概要](#)

[設定](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、署名済み電子メールの拡張されたDKIM大キーサイズ検証機能について説明します。

前提条件

SEGの設定と設定に関する一般的な知識が必要です。

使用するコンポーネント

- Cisco Secure Email Gateway(SEG)AsyncOS 15.5.1以降
- DKIM検証プロファイル
- メールフローポリシー

"このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください"

概要

SEGは、DKIM署名済み電子メールのインバウンド検証を実行できます。

従来、SEG検証キーの範囲は、15.5 AsyncOS以前は512 ~ 2048でした。

AsyncOS 15.5は1024 ~ 4096ビットのキー範囲をサポートします

512および768ビットサイズのキー15.5は廃止されましたが、アップグレード前の512-768を含むプロファイルは引き続き使用できます。

設定

SEGの設定は、新しいキーサイズに対応するために非常に最小限です。

WebUI内で次の操作を行います。

- メールポリシー
 - ドメインキー
 - DKIM検証プロファイル

Outbound DKIM Verification

Profile Name:	DKIM_Large
Smallest Key to be Accepted:	1024 Bits
Largest Key to be Accepted:	2048 Bits
Maximum Number of Signatures in the Message to Verify:	<input checked="" type="radio"/> Use Default (5)
Key Query Timeout Limit:	<input checked="" type="radio"/> Use Default (10 Seconds)
Limit to Tolerate Wall Clock Asynchronization Between Sender and Verifier:	<input checked="" type="radio"/> Use Default (60 Seconds) <input type="radio"/> 60 Seconds
Use a Body Length Parameter:	<input checked="" type="radio"/> Yes <input type="radio"/> No
SMTP Action for Temporary Failure:	<input checked="" type="radio"/> Accept <input type="radio"/> Reject
<input type="checkbox"/> Change SMTP Response Settings Response Code: 451 Description: #4.7.5 Unable to verify signature - key server unavailable	
SMTP Action for Permanent Failure:	<input checked="" type="radio"/> Accept <input type="radio"/> Reject
<input type="checkbox"/> Change SMTP Response Settings Response Code: 550 Description: #5.7.5 DKIM unauthenticated mail is prohibited	

DKIM検証プロファイル

DKIM Verification Profiles Items per page 20

Profile Name ▲	Smallest Key (Bits)	Largest Key (Bits)	Key Query Timeout (Seconds)	Use Body Length Parameter	SMTP Action For Temporary Failure	SMTP Action For Permanent Failure	Maximum Number of Signatures to Verify	All <input type="checkbox"/> Delete
DEFAULT	512	2048	10	Yes	Accept	Accept	5	<input type="checkbox"/>
DKIM_Large	1024	4096	10	Yes	Accept	Accept	5	<input type="checkbox"/>

Buttons: Add Profile..., Clear All Profiles, Import Profiles..., Export Profiles..., Delete

DKIM検証プロファイルの概要ページ

目的の着信メールフローポリシーに新しいDKIM検証プロファイルを適用します。

- メールポリシー
 - メールフローポリシー
 - 組織の設定に基づいて、新しいDKIM検証プロファイルを適用するメールフロー

ポリシーを選択します。

- Security Featuresセクションまでスクロールダウンして、「DKIM Verification:」を見つけます。
 - 適切なプロファイルを選択します。

DKIM Verification:	<input type="radio"/> Use Default (On: DEFAULT) <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off	DEFAULT
	Use DKIM Verification Profile: 	<input checked="" type="checkbox"/> DKIM_Large

 注：AsyncOS 15.5よりも前のバージョンでは、DKIM検証は2048ビットに制限され、未署名としてより大きなキーサイズを渡していました。

確認

SEGは、メールログまたはメッセージトラッキング内のキーサイズに関する詳細をログに記録しません。

AsyncOS 15.5より前では、大規模な1024-4096 DKIM署名はunsignedとして渡されます。

DKIMの大きなキーサイズの小さなインジケータの中には、後処理チェックが必要なものがあります。

- b=値のヘッダー取得およびレビュー。この値は、計算する直接値ではありませんが、キーサイズが大きいくほど大きくなります。
- DKIM DNSレコードは、ペアの公開キーを表示します。公開キーのサイズは、512ビットの場合は180バイト（推定）、4096ビットの場合は800バイトになります。
- 「DKIMキーサイズチェック」の公開検索では、DKIMレコードを取得するための検索ツールを含む複数のWebサイトが生成される可能性があります。これらのサイトでは、セクタとドメインを使用してDNSレコードを照会し、キービットサイズを生成します。DNSクエリの結果は出力されます。

関連情報

- [Cisco Secure Email Gateway – セットアップガイド](#)
- [サポートガイドへのCisco Secure Email Gateway起動ページ](#)
- [Cisco Secure Email Gateway – リリースノート](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。